

グローバル・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)

運用報告書 (全体版)

第1期 (決算日 2016年7月20日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)」は、2016年7月20日に第1期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2015年8月31日から2025年7月22日までです。	
運用方針	主として、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

<642851>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数		株式組入比率	純資産額
	(分配落)	税分	込配	み金	期騰		
(設定日)	円			円		%	百万円
2015年8月31日	10,000			—		—	89,867
1期(2016年7月20日)	9,893			0		△1.1	369,339

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は、ROBO Global Partners Ltdが開発した、世界のロボティクス関連等の株式を対象にした指数です。なお、設定時を100として2016年7月20日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数		株式組入比率
	騰	落	(参考指数)	騰	
(設定日)					
2015年8月31日	円	%	100.00	—	—
9月末	9,228	△7.7	91.55	△8.4	93.1
10月末	10,327	3.3	101.39	1.4	95.9
11月末	10,826	8.3	106.65	6.7	96.9
12月末	10,477	4.8	104.78	4.8	96.6
2016年1月末	9,357	△6.4	92.03	△8.0	96.8
2月末	9,126	△8.7	90.00	△10.0	93.8
3月末	9,760	△2.4	97.56	△2.4	94.5
4月末	9,805	△2.0	98.14	△1.9	95.8
5月末	10,057	0.6	97.79	△2.2	94.7
6月末	9,142	△8.6	88.76	△11.2	95.8
(期末)					
2016年7月20日	9,893	△1.1	95.92	△4.1	94.4

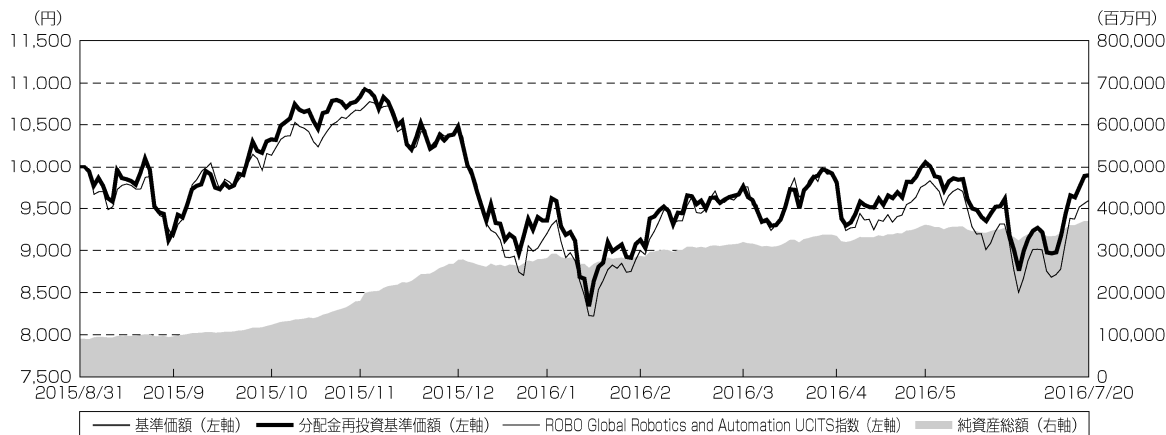
(注) 騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2015年8月31日～2016年7月20日）

期中の基準価額等の推移



設 定 日：10,000円

期 末：9,893円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率：△1.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・今後の成長が見込まれるAI（人工知能）関連や医療ロボット関連などの銘柄の株価が堅調に推移したこと。
- ・人手不足などを背景とした自動化投資ニーズの高まりを背景に、産業用ロボットなどの関連銘柄の株価が堅調に推移したこと。

<値下がり要因>

- ・中国などの景気減速懸念や資源価格の下落を背景に、一時期、世界的に株価が振るわなかったこと。
- ・英国のEU（欧州連合）離脱の選択による景気の先行き不透明感の高まりなどを背景に、リスク回避的な動きが強まり、為替相場が円高傾向で推移したこと。

投資環境

（株式市況）

期間中の世界の株式市場は、中国景気の減速懸念や商品価格の下落などを受けて、世界的にリスク回避の動きが強まり、下落して始まりました。その後は、米国の早期利上げ観測の後退や、ECB（欧州中央銀行）による追加金融緩和への期待などから、2015年10月以降は一時持ち直す展開となりました。2016年に入ると、中国の低調なマクロ経済指標や人民元安をきっかけとした中国株式市場の下落が、世界的な株安に連鎖する展開となり、波乱含みの展開となりました。ただし、その後は原油価格の落ち着きや米国の堅調なマクロ経済指標が好感され株価は持ち直し、FRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げペース鈍化の観測も後押しする形で4月後半にかけて、世界の株式市場は堅調に推移しました。期間末にかけては、英国のEU離脱を問う国民投票の結果を受け、世界的な株安となる局面はあったものの、米国経済の堅調さが再度確認されたことをきっかけに、世界景気の見通しに対する不透明感が和らぎ、概ね堅調に推移する相場展開となりました。

ロボティクス関連銘柄の株価は、値動きの大きかった為替動向や足元の景気動向に左右される銘柄があった一方、中長期的なロボティクス市場の拡大期待を背景に、好調に推移する銘柄もありました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（グローバル・ロボティクス株式マザーファンド）

当ファンドでは、ボトムアップアプローチにより、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業を中心に注目して運用を行ないました。

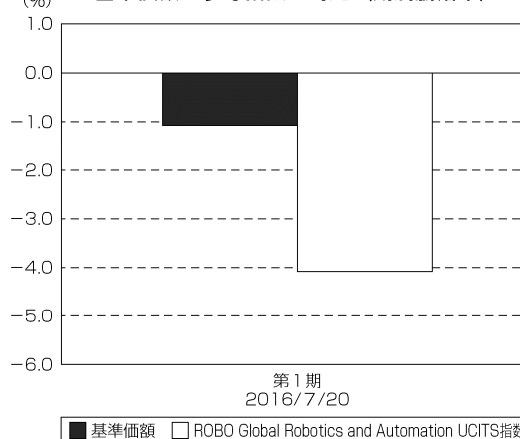
期間の初めから資本財・サービスセクター、情報技術セクターなどの銘柄を中心に積極的に投資を行ないました。期間中は、好業績が評価されて株価が上昇した銘柄などに消極姿勢で臨んだ一方で、中長期的な成長が期待されるヘルスケアセクターや資本財・サービスセクターの銘柄などに積極姿勢で臨みました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりいたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第1期
	2015年8月31日～ 2016年7月20日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（グローバル・ロボティクス株式マザーファンド）

人手不足や人件費上昇を背景とした生産性向上のニーズは、もはや先進国のみでなく、中国をはじめとした新興国での課題となりつつあります。

一方で、生産性向上を可能にするセンサーや半導体、AI（人工知能）などの技術革新は絶え間なく進んでおり、ロボティクス市場は今後ますます話題に上る機会が増えてくると考えています。

このような長期的なトレンドを踏まえ、以下の観点でポートフォリオ運用に取り組んでいます。

- ・ 個々の企業が魅力ある投資対象であるか
- ・ 期待される成長市場に対して分散して幅広く保有しているか
- ・ 産業や国に大きな偏りが生じていないか

これらの方針に忠実に取り組むことにより、多様なロボティクス市場の成長を十分に享受できると考えています。

引き続き、強みであるボトムアップアプローチによるアクティブ運用のノウハウを活かし、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業を中心に注目していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2015年8月31日～2016年7月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	166	1.688	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 80 ）	（ 0.815 ）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 80 ）	（ 0.815 ）	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 6 ）	（ 0.058 ）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	9	0.093	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	（ 9 ）	（ 0.093 ）	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.033	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	（ 3 ）	（ 0.033 ）	
(d) そ の 他 費 用	2	0.022	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 1 ）	（ 0.006 ）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 0 ）	（ 0.005 ）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	（ 1 ）	（ 0.011 ）	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（ 0.000 ）	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	180	1.836	
期中の平均基準価額は、9,827円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年8月31日～2016年7月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	363,892,387 千口	368,755,953 千円	— 千口	— 千円

○株式売買比率

(2015年8月31日～2016年7月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	633,084,113千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	350,593,771千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.80

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2015年8月31日～2016年7月20日)

利害関係人との取引状況

<グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
金銭信託	百万円 99,974	百万円 99,974	% 100.0	百万円 99,974	百万円 99,974	% 100.0

<グローバル・ロボティクス株式マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 511,750	百万円 —	% —	百万円 146,011	百万円 1,200	% 0.8
金銭信託	22,144	22,144	100.0	22,144	22,144	100.0

平均保有割合 70.8%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2015年8月31日～2016年7月20日）

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2015年8月31日～2016年7月20日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2016年7月20日現在）

親投資信託残高

銘	柄	当 期	末
		口 数	評 価 額
		千口	千円
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド		363,892,387	366,039,352

（注）親投資信託の2016年7月20日現在の受益権総口数は、510,054,976千口です。

○投資信託財産の構成

（2016年7月20日現在）

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	366,039,352	98.2
コール・ローン等、その他	6,707,084	1.8
投資信託財産総額	372,746,436	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

（注）グローバル・ロボティクス株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（368,237,139千円）の投資信託財産総額（517,491,276千円）に対する比率は71.2%です。

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=106.03円、1カナダドル=81.38円、1ユーロ=116.80円、1イギリスポンド=138.85円、1スイスフラン=107.58円、1スウェーデンクローナ=12.30円、1新台幣ドル=3.31円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2016年7月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	372,746,436,738
コール・ローン等	6,707,084,190
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド(評価額)	366,039,352,548
(B) 負債	3,406,502,913
未払解約金	939,414,782
未払信託報酬	2,433,118,567
未払利息	6,708
その他未払費用	33,962,856
(C) 純資産総額(A-B)	369,339,933,825
元本	373,339,622,673
次期繰越損益金	△ 3,999,688,848
(D) 受益権総口数	373,339,622,673口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,893円

- (注) 当ファンドの設定時元本額は89,867,809,693円、期中追加設定元本額は304,779,458,370円、期中一部解約元本額は21,307,645,390円です。
- (注) 1口当たり純資産額は0.9893円です。
- (注) 2016年7月20日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は3,999,688,848円です。

○損益の状況（2015年8月31日～2016年7月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 6,715
受取利息	709,090
支払利息	△ 715,805
(B) 有価証券売買損益	△1,600,855,406
売買益	1,024,326,965
売買損	△2,625,182,371
(C) 信託報酬等	△4,249,898,216
(D) 当期損益金(A+B+C)	△5,850,760,337
(E) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	1,851,071,489 (1,851,071,489)
(F) 計(D+E)	△3,999,688,848
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△3,999,688,848
追加信託差損益金 (配当等相当額)	1,851,071,489 (217,376,647)
(売買損益相当額)	(1,633,694,842)
繰越損益金	△5,850,760,337

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 2015年8月31日～2016年7月20日の期間に、信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用は927,274,535円です。

(注) 分配金の計算過程(2015年8月31日～2016年7月20日)は以下の通りです。

項 目	2015年8月31日～ 2016年7月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	217,376,647円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	217,376,647円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	5円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2015年8月31日から2016年7月20日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2016年2月6日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。
 - ①資金流入額や市場規模・流動性等を勘案し、運用に支障がない水準として、信託金限度額を5,000億円から7,000億円まで引き上げました。
 - ②運用において参考とする指数の名称が「ROBO-STOX Global Robotics and Automation UCITS指数」から「ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数」に変更となったため、信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ③投資対象とするマザーファンドにおいて、運用指図権限の委託に係る報酬の見直しを行なうため、その報酬体系につき、純資産総額が150億円以下の部分は年10,000分の50、150億円超2,000億円以下の部分は年10,000分の45、2,000億円超3,000億円以下の部分は年10,000分の40、3,000億円超の部分は年10,000分の35との記載に変更いたしました。
(第3条、第40条、第41条)

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

グローバル・ロボティクス株式マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日 2016年7月20日）
（2015年8月31日～2016年7月20日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2015年8月31日から原則無期限です。
運用方針	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式（預託証券を含みます。）に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式（預託証券を含みます。）に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。
株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。
外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。
ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<638110>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数 (参考指数)		株組入比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率		
(設定日)	円	%		%	%	百万円
2015年8月31日	10,000	—	100.00	—	—	124,373
1期(2016年7月20日)	10,059	0.6	95.92	△4.1	95.2	513,039

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は、ROBO Global Partners Ltdが開発した、世界のロボティクス関連等の株式を対象にした指数です。なお、設定時を100として2016年7月20日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数 (参考指数)		株組入比率
	騰落	率	騰落	率	
(設定日)	円	%		%	%
2015年8月31日	10,000	—	100.00	—	—
9月末	9,235	△7.7	91.55	△8.4	94.1
10月末	10,363	3.6	101.39	1.4	96.8
11月末	10,886	8.9	106.65	6.7	97.9
12月末	10,548	5.5	104.78	4.8	97.6
2016年1月末	9,424	△5.8	92.03	△8.0	97.7
2月末	9,204	△8.0	90.00	△10.0	94.8
3月末	9,866	△1.3	97.56	△2.4	95.4
4月末	9,926	△0.7	98.14	△1.9	96.7
5月末	10,201	2.0	97.79	△2.2	95.6
6月末	9,278	△7.2	88.76	△11.2	96.7
(期末)					
2016年7月20日	10,059	0.6	95.92	△4.1	95.2

(注) 騰落率は設定日比です。

○運用経過

(2015年8月31日～2016年7月20日)

基準価額の推移

設定時10,000円の基準価額は、期間末に10,059円となり、騰落率は+0.6%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・今後の成長が見込まれるAI（人工知能）関連や医療ロボット関連などの銘柄の株価が堅調に推移したこと。
- ・人手不足などを背景とした自動化投資ニーズの高まりを背景に、産業用ロボットなどの関連銘柄の株価が堅調に推移したこと。

<値下がり要因>

- ・中国などの景気減速懸念や資源価格の下落を背景に、一時期、世界的に株価が振るわなかったこと。
- ・英国のEU（欧州連合）離脱の選択による景気の先行き不透明感の高まりなどを背景に、リスク回避的な動きが強まり、為替相場が円高傾向で推移したこと。



設定時	期中高値	期中安値	期末
2015/08/31	2015/12/01	2016/02/12	2016/07/20
10,000円	10,987円	8,394円	10,059円

基準価額(指数化)の推移



ROBO Global Robotics and Automation UCITS 指数(指数化)の推移



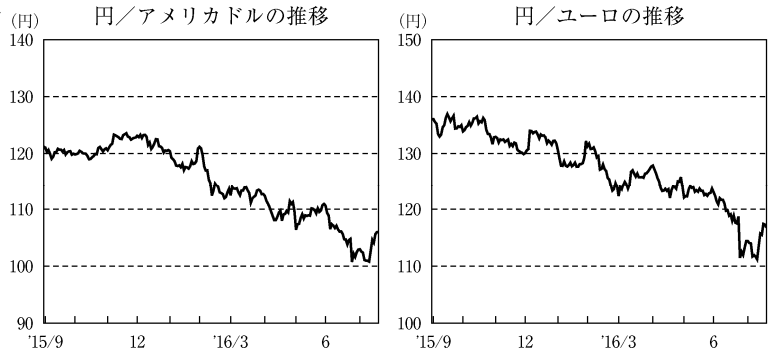
(株式市況)

期間中の世界の株式市場は、中国景気の減速懸念や商品価格の下落などを受けて、世界的にリスク回避の動きが強まり、下落して始まりました。その後は、米国の早期利上げ観測の後退や、ECB（欧州中央銀行）による追加金融緩和への期待などから、2015年10月以降は一時持ち直す展開となりました。2016年に入ると、中国の低調なマクロ経済指標や人民元安をきっかけとした中国株式市場の下落が、世界的な株安に連鎖する展開となり、波乱含みの展開となりました。ただし、その後は原油価格の落ち着きや米国の堅調なマクロ経済指標が好感され株価は持ち直し、FRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げペース鈍化の観測も後押しする形で4月後半にかけて、世界の株式市場は堅調に推移しました。期間末にかけては、英国のEU離脱を問う国民投票の結果を受け、世界的な株安となる局面はあったものの、米国経済の堅調さが再度確認されたことをきっかけに、世界景気の見通しに対する不透明感が和らぎ、概ね堅調に推移する相場展開となりました。

ロボティクス関連銘柄の株価は、値動きの大きかった為替動向や足元の景気動向に左右される銘柄があった一方、中長期的なロボティクス市場の拡大期待を背景に、好調に推移する銘柄もありました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



ポートフォリオ

当ファンドでは、ボトムアップアプローチにより、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業を中心に注目して運用を行ないました。

期間の初めから資本財・サービスセクター、情報技術セクターなどの銘柄を中心に積極的に投資を行ないました。期間中は、好業績が評価されて株価が上昇した銘柄などに消極姿勢で臨んだ一方で、中長期的な成長が期待されるヘルスケアセクターや資本財・サービスセクターの銘柄などに積極姿勢で臨みました。

○今後の運用方針

人手不足や人件費上昇を背景とした生産性向上のニーズは、もはや先進国のみでなく、中国をはじめとした新興国での課題となりつつあります。

一方で、生産性向上を可能にするセンサーや半導体、A I（人工知能）などの技術革新は絶え間なく進んでおり、ロボティクス市場は今後ますます話題に上る機会が増えてくると考えています。

このような長期的なトレンドを踏まえ、以下の観点でポートフォリオ運用に取り組んでいます。

- ・個々の企業が魅力ある投資対象であるか
- ・期待される成長市場に対して分散して幅広く保有しているか
- ・産業や国に大きな偏りが生じていないか

これらの方針に忠実に取り組むことにより、多様なロボティクス市場の成長を十分に享受できると考えています。

引き続き、強みであるボトムアップアプローチによるアクティブ運用のノウハウを活かし、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業を中心に注目していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年8月31日～2016年7月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 9 (9)	% 0.094 (0.094)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	3 (3)	0.033 (0.033)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.006 (0.006) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	13	0.133	
期中の平均基準価額は、9,902円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年8月31日～2016年7月20日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 65,261	千円 174,397,233	千株 6,033	千円 27,308,893
	アメリカ	百株 314,688	千アメリカドル 2,222,289	百株 57,448	千アメリカドル 307,994
外	カナダ	5,471	千カナダドル 43,963	—	千カナダドル —
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	46,387 (10,335)	265,914 (81,237)	5,040 (10,335)	42,866 (82,790)
	フランス	29,076 (57,570)	231,596 (166,177)	— (38,380)	— (169,581)
	イギリス	57,762	千イギリスポンド 59,911	2,082	千イギリスポンド 3,535
国	スイス	82,601 (—)	千スイスフラン 152,147 (△ 6,112)	—	千スイスフラン —
	スウェーデン	87,057	千スウェーデンクローナ 1,558,395	—	千スウェーデンクローナ —
	台湾	125,610 (7,183)	千新台幣ドル 1,953,897 (43,250)	— (4,789)	千新台幣ドル — (7,332)

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2015年8月31日～2016年7月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	633,084,113千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	350,593,771千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.80

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2015年8月31日～2016年7月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	511,750	—	—	146,011	1,200	0.8
金銭信託	22,144	22,144	100.0	22,144	22,144	100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○組入資産の明細

(2016年7月20日現在)

国内株式

銘 柄	当 期 末		
	株 数	評 価 額	
	千株	千円	
機械 (10.5%)			
アマダホールディングス	4,487.4	4,958,577	
SMC	194.9	5,069,349	
ハーモニック・ドライブ・システムズ	1,431.6	4,609,752	
電気機器 (80.2%)			
日立製作所	29,124	13,717,404	
安川電機	6,447.9	8,930,341	
日本電産	596.3	5,136,528	
オムロン	2,459.4	8,718,573	
ソニー	3,184.2	10,291,334	
キーエンス	339	24,360,540	
ファナック	1,256.4	21,729,438	
村田製作所	446.4	5,778,648	
東京エレクトロン	1,369.3	12,661,917	
精密機器 (9.3%)			
トプコン	3,186	3,252,906	
CYBERDYNE	4,704.9	9,692,094	
合 計	株 数 ・ 金 額	59,227	138,907,402
	銘 柄 数 < 比 率 >	14	< 27.1% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	当 期 末			業 種 等
	株 数	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	千アメリカドル	千円	
DEERE & CO	8,272	68,872	7,302,569	資本財
DELPHI AUTOMOTIVE PLC	10,311	68,815	7,296,519	自動車・自動車部品
EATON CORP PLC	16,926	106,718	11,315,355	資本財
EMC CORP/MASS	15,986	44,936	4,764,632	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
FMC TECHNOLOGIES INC	11,817	32,378	3,433,100	エネルギー
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	19,944	238,031	25,238,494	資本財
MEDTRONIC PLC	11,562	102,184	10,834,670	ヘルスケア機器・サービス
PARKER HANNIFIN CORP	8,914	100,229	10,627,282	資本財
QUINTILES TRANSNATIONAL HOLD	11,932	86,077	9,126,791	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ROCKWELL AUTOMATION INC	21,214	252,446	26,766,912	資本財
STRYKER CORP	10,434	127,044	13,470,516	ヘルスケア機器・サービス
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	9,328	146,113	15,492,445	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TYCO INTERNATIONAL PLC	38,387	165,870	17,587,220	商業・専門サービス
APPLIED MATERIALS INC	39,909	105,319	11,167,063	半導体・半導体製造装置
ALPHABET INC-CL C	2,896	213,423	22,629,306	ソフトウェア・サービス
INTUITIVE SURGICAL INC	2,754	185,041	19,619,924	ヘルスケア機器・サービス
NXP SEMICONDUCTORS NV	6,783	55,308	5,864,368	半導体・半導体製造装置
SPLUNK INC	9,871	57,389	6,085,061	ソフトウェア・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	257,240 18	2,156,203 — <44.6%>	
(カナダ)		千カナダドル		
MACDONALD DETTWILER & ASSOC	5,471	45,458	3,699,415	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	5,471 1	45,458 — <0.7%>	
(ユーロ…ドイツ)		千ユーロ		
GEA GROUP AG	20,872	95,335	11,135,230	資本財
KUKA AG- NEW	10,335	111,623	13,037,676	資本財
SAP SE	10,138	72,644	8,484,819	ソフトウェア・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	41,346 3	279,603 — <6.4%>	
(ユーロ…フランス)				
SCHNEIDER ELECTRIC SE	18,294	100,763	11,769,191	資本財
VALEO SA	29,972	124,205	14,507,202	自動車・自動車部品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	48,266 2	224,969 — <5.1%>	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	89,613 5	504,572 — <11.5%>	
(イギリス)		千イギリスポンド		
ARM HOLDINGS PLC	55,679	92,595	12,856,833	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	55,679 1	92,595 — <2.5%>	
(スイス)		千スイスフラン		
ABB LTD-REG	82,601	164,295	17,674,871	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	82,601 1	164,295 — <3.4%>	
(スウェーデン)		千スウェーデンクローナ		
ASSA ABLOY AB-B	81,739	1,512,175	18,599,752	資本財

銘	柄	当 期 末		業 種 等
		株 数	評 価 額	
(スウェーデン) HEXAGON AB-B SHS		百株 5,317	千スウェーデンクローナ 172,301	千円 2,119,305
小	計	株 数 ・ 金 額 87,057	外貨建金額 1,684,476	邦貨換算金額 20,719,058
		銘 柄 数 < 比 率 > 2	—	< 4.0% >
(台湾) DELTA ELECTRONICS INC		128,004	千新台幣ドル 2,182,477	7,224,000
小	計	株 数 ・ 金 額 128,004	2,182,477	7,224,000
		銘 柄 数 < 比 率 > 1	—	< 1.4% >
合	計	株 数 ・ 金 額 705,667	—	349,730,535
		銘 柄 数 < 比 率 > 29	—	< 68.2% >

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2016年7月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	488,637,937	94.4
コール・ローン等、その他	28,853,339	5.6
投資信託財産総額	517,491,276	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(368,237,139千円)の投資信託財産総額(517,491,276千円)に対する比率は71.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=106.03円、1カナダドル=81.38円、1ユーロ=116.80円、1イギリスポンド=138.85円、1スイスフラン=107.58円、1スウェーデンクローナ=12.30円、1新台幣ドル=3.31円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年7月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	517,491,276,438
コール・ローン等	20,354,092,493
株式(評価額)	488,637,937,202
未収入金	8,151,537,646
未収配当金	347,709,097
(B) 負債	4,451,644,227
未払金	4,451,644,164
未払利息	63
(C) 純資産総額(A-B)	513,039,632,211
元本	510,054,976,031
次期繰越損益金	2,984,656,180
(D) 受益権総口数	510,054,976,031口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,059円

(注) 当ファンドの設定時元本額は124,373,904,536円、期中追加設定元本額は385,710,766,792円、期中一部解約元本額は29,695,297円です。

(注) 2016年7月20日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型) 363,892,387,462円
- ・グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型) 146,162,588,569円

(注) 1口当たり純資産額は1,0059円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○損益の状況 (2015年8月31日～2016年7月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,837,500,622
受取配当金	3,836,031,317
受取利息	1,682,343
その他収益金	116
支払利息	△ 213,154
(B) 有価証券売買損益	△ 8,115,872,371
売買益	55,742,844,676
売買損	△63,858,717,047
(C) 保管費用等	△ 20,600,949
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 4,298,972,698
(E) 追加信託差損益金	7,282,513,619
(F) 解約差損益金	1,115,259
(G) 計(D+E+F)	2,984,656,180
次期繰越損益金(G)	2,984,656,180

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

約款変更について

2015年8月31日から2016年7月20日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、運用に支障がない水準として、信託金限度額を1兆円まで引き上げるべく、2016年1月6日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(第3条)
- 当ファンドについて、運用指図権限の委託に係る報酬の見直しを行なうため、その報酬体系につき、純資産総額が150億円以下の部分は年10,000分の50、150億円超2,000億円以下の部分は年10,000分の45、2,000億円超3,000億円以下の部分は年10,000分の40、3,000億円超の部分は年10,000分の35との記載に変更すべく、2016年2月6日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(第16条)